

第8回 京都・臨床脊椎グループミーティングの開催報告

平成30年3月3日（土）に第8回 京都・臨床脊椎グループミーティングが開催されました。今回は一般演題の口述発表が4題とポスター発表が2題発表され、質疑応答はいつもながら盛んに行われました。特別講演に済生会滋賀県病院 整形外科主任部長 兼 脊椎センター長の竹下 博志 先生に、「胸腰移行部椎体破裂骨折の手術方法と機能的予後の検討」をテーマに御講演をしていただきました。講演内容は関連病院3施設から約60症例を集めAO分類やLoad sharing分類と予後（楔状率・局所後弯角・JOABPEQ）や術式による予後に違いがあったのかなど、多角的視点で御講演していただきました。この研究は今後も症例数を増やしていき、胸腰移行部椎体破裂骨折の治療方針として、お示しできたらと思います。特別講演の座長を務めていただきました大澤 透 先生、一般演題の座長を務めていただきました小倉 卓 先生、また会の開催準備をしていただきました日本臓器製薬株式会社の皆様には、この場をお借りしまして、深くお礼を申し上げます。



共催：日本臓器製薬株式会社
京都・臨床脊椎グループミーティング